

「ICT推進フェア2012 in 東北」開催概要

【セミナーの概要】

◆ 基調講演	
○ 「危機管理と情報システム ～被災者支援システムと東日本大震災からの報告も交えて～」 兵庫県西宮市 CIO補佐官兼西宮市情報センター長 (被災者支援システム全国サポートセンター長) 吉田 稔 氏	10:05～11:25
◆ ICT利活用セミナー	
○ 「被災地におけるテレワークによる就労支援 ～就業のためのeラーニングと企業の在宅勤務導入支援～」 株式会社ワイズスタッフ 代表取締役 田澤 由利 氏	11:30～12:15
◆ スマートフォン利用促進講座	
○ 「スマートフォンはどう進化したの? ～電波の賢い利用について～」 電気通信サービス向上推進協議会 (ソフトバンクモバイル株式会社) 疋田 利幸 氏	12:20～13:00
◆ 総務省被災地情報化支援セミナー	
○ 「東北メディカルメガバンク構想 みやぎ医療ネットワーク協議会の取組」 東北大学 東北メディカルメガバンク機構 教授 中谷 純 氏	13:05～13:45
○ 「電波利用による災害に強い情報連携システム 宮城県石巻市の取組」 宮城県石巻市 企画部情報政策課 主査 佐藤 将 氏	13:45～14:25
◆ 情報通信技術研究開発促進セミナー	
○ 「ユビキタス農業に資するコンテンツ収集・利活用 に関する実践的基盤技術研究開発」 宮城大学 事業構想学部 教授 富樫 敦 氏	15:00～15:20
○ 「短距離無線技術を活用したフレキシブル公共交通システムの研究開発」 秋田大学大学院 工学資源学研究科 教授 行松 健一 氏	15:25～15:45
○ 「心臓病の新生児のためのスケーラブル映像符号化技術 による地域医療連携支援システムの研究開発」 岩手医科大学 医学部 教授 小山 耕太郎 氏	15:50～16:10
○ 「音声による移動情報取得支援システムの研究開発」 東北福祉大学 総合マネジメント学部 准教授 岡 正彦 氏	16:15～16:30
○ 「スマートフォンを活用した道路状況センシングと その局所的情報交換のための車車間通信の研究開発」 福島県ハイテクプラザ 技術開発部 濱尾 和秀 氏	16:30～16:45

【展示の概要(予定)】全13ブース 9:30~17:00

◆ ICT利活用ブース(2ブース)

ICT利活用による災害時の住民への被災情報等の提供及び高齢者等への安全安心支援サービスのための関連システム展示、実演します。

○ 今野印刷株式会社

災害等により停電になった場合に、普段は通常の飲料の自動販売機が専用キーによる人的操作で非常電源に切り替わり、無料で飲料を提供する他、自動販売機内に搭載したデジタルサイネージによる被災情報の提供が可能となる実物の自販機を展示、実演します。

○ 青森県産業技術センター

情報機器の操作が苦手な高齢者でも扱えるよう機能をしぼり操作を簡単にするとともに、市販のスマートフォンやタブレット端末等を活用することにより、特定の機器やライセンスに依存せず低コストで利用でき、利用者の増加にも柔軟に対応可能な次世代型福祉安心システムを展示・実演します。

◆ マルチメディアブース(2ブース)

災害時にも対応した新しい電波利用システムと急速に普及するスマートフォンの展示、実演を行います。

○ マスプロ電工株式会社

平成24年4月から制度化されたエリア放送型システム(ワンセグテレビ放送局)。エリア型メール機能を用いて同メール受信者に災害発生情報を即座に配信することに併せてワンセグでも映像情報を確認できるように、エリアメール内にワンセグ起動リンクを埋め込むなどの実験が行われており、そのシステムを展示、実演します。

○ 株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社及びソフトバンクモバイル株式会社

急速に普及するスマートフォン、大きな画面でインターネットをスムーズに利用できるなど、多彩で便利なスマートフォンですが、これまでの携帯電話とは色々な面で違ってきます。スマートフォンの実機を展示し、実際に触っていただき機能や仕組みを体験していただきます。

◆ 安心、安全、新たな無線システムブース(6ブース)

東日本大震災の教訓を踏まえた新しい防災無線や暮らしに役立つ最新の無線システムなどについて、通信機器メーカー等による機器の展示やその機器によるデモンストレーションを行います。

また、船舶の安全航行を支援するシステムである船舶自動識別装置(AIS)について実機の展示とインターネット配信のAIS受信状況(識別、位置情報等)について画像モニターでの表示実演を行います。

- | | | |
|------------|------------------|--------------|
| ○ アイコム株式会社 | ○ 一般財団法人移動無線センター | ○ 日東通信株式会社 |
| ○ 日本無線株式会社 | ○ 八重洲無線株式会社 | ○ 八木アンテナ株式会社 |

◆ 情報通信技術研究開発促進ブース(2ブース)

総務省の「戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)」における東北地域からの採択2課題について研究成果をシステム展示・実演を交えて紹介します。

- 短距離無線技術を活用したフレキシブル公共交通システムの研究開発
(秋田大学大学院工学資源学部)

- 音声による移動情報取得支援システムの研究開発
(東北福祉大学総合マネジメント学部)

◆ 広報・相談ブース(1ブース)

総務省東北総合通信局による無線局免許可手続きの電子申請及び特定実験試験局制度に関する広報を行うとともに相談を受け付けます。

- 無線局免許可申請手続きの電子申請の利用推進
従来からのペーパーによる無線局の免許可申請よりも電子申請利用の方が申請手数料(約30%減)も許可に要する期間も有利。この電子申請の利用法について、電子証明書による方式と、ID/PWD方式によるアマチュア無線局用の電子申請手続き(Lite)を説明するとともに、システムにアクセスしてデモンストレーションを行います。

- 大学や企業等の技術開発・試験等のために特定実験試験局制度について
特定実験試験局制度は、早期に電波を発射したいというニーズに応えるために平成16年度に制度化。本制度は一定の条件下において1～2週間で免許を受けることが可能となります。特に大学や企業等の技術開発・試験等を行うための無線局を開設しようとする場合には本制度を活用いただけますので、ご相談下さい。